
第2回会員アンケート調査

結果報告書

【調査目的】 男性会員の抱える悩み・プレッシャーは何か？
【調査方法】 アンケート方式
【調査対象】 全国のマスターズ会員
【調査時期】 平成17年6月
【回収時期】 平成17年7月

(社)スコール家庭教育振興協会マスターズ

企画 編集》 危機管理研究会

1.はじめに

1990年、昭和から平成への改元時期は、日本経済にとってバブル崩壊が始まる象徴的な時期であった。経済の破綻は、地価の急落、大量の不良債権を生み、これが金融業界の大変革の波となり、相次ぐ大企業の倒産、整理と人員整理の動きは、働く社員に大きな動揺と生活基盤の維持を困難にした。

近時、企業は「終身雇用」「年功序列」の雇用システムを降ろし、「成果主義」「能力主義」を導入、「人員削減」「合理化」の動きはパート、派遣社員を含めた労働市場に大きな変化をもたらした。

現在、年間の自殺者は33千人である。うち60%は「うつ病」に関連があるといわれている。又年間の死亡者のうち中高年の死亡原因の1位が「自殺」である。失業率はピークの5%台から改善されたものの4%台であり、これに含まれない「ニート」は86万人といわれている。

以上の諸現象は、サラリーマンにとって、強いストレス環境を生んでおり、この大きな環境変化が、特に男性層に「不安」「悩み」、更には「生きがいの喪失」を生む背景になっていることが窺える。

国家には国家の、企業には企業の危機管理がある。私達男性にとっても現下の状況は正に「男性にとっての危機管理」の必要性を感じる時はない。幸いマスターズはスコアの学びとして「自己実現」と「危機管理」を基本テーマに取組んでいる。人生の危機に直面した時どう対応するかは、その人の生き方の方向を創る重要な契機でありその意味で「人生の危機管理」は生き方の中心テーマである。

2003年10月に行ったマスターズの第1回会員アンケートの中で「あなたは現在悩み・トラブルがありますか？」の質問をしたところ、「家族」「家計」「性格性向」「人間関係」等に悩み不安を強く感じていることが判った。今回は、これを掘り下げる形でアンケートを行った。

私達、危機管理研究会は、今回の調査結果を踏まえ、「男性にとっての危機管理対応能力をいかに高めるか」のための具体的な教材開発と提供、或いは、会員向のカウンセリングシステムの構築等を視野に入れた企画へ向けて、研鑽を重ねていきたいと考えている。

2005年 10月

スコレ・マスターズ
危機管理研究会

山下 勝也
小俣 富雄

岡本 一誠
金井 繁

目次

説明編

(ページ)

はじめに	1
調査報告書の概要	3
アンケート集計結果	
質問1 質問2の結果と説明	4
質問2 質問3の結果と説明	5
質問4の集計結果	
6つの質問ジャンルからの集計結果 6つのジャンルは「過去に経験したこと」 か「現在抱えている問題」か?	6
21の中項目でリスクの高い項目を 検証すると	8
年代層別に見た6つのジャンルの特徴	16
問題をどのように解決したのか?	24
関連質問についての会員意見	26
調査票に関連した自由意見記載	27

資料編

(ページ)

第2回会員アンケート調査票	3-1 3-3
表1・表2-1	4
表2-2	5
表4-1 グラフ4-1 同4-2 同4-3	7
表4-2 グラフ4-4 別紙-1 ~ 別紙-6	9 10~15
グラフ4-5 【付表】1表 ~ 【付表】6表	17 18~23
表4-3 グラフ4-6	25
参考資料 「おとうさんのライフ・ステージ」	28

2.調査票の概要説明

調査対象 < 1 > 全国のマスターズ会員200名に対し無記名・項目選択方式による調査票を郵送で行った。

< 2 > 回答者数は70名。回収率は35%であった。

調査項目 < 1 > **質問4**の質問は「会員の抱える悩みは何か？」である。
質問項目選定にあたっては、事前に多角的検討を加えたが、次の6つのジャンルに集約した。

「仕事」「家計・経済」「親・兄弟姉妹」「失婦間」「子ども」そして「自分自身」の6区分(大項目)である。
更に、問題の所在をより明確にするため、これを21の中項目に分類し、より具体的な質問項目として70の小項目を設けた。

次に、回答を選択した項目ごとに、その事柄は「過去に経験した悩み」か「現在抱えている悩み」かに分けて回答をして貰った。

更に、その回答した該当項目の解決方法は次のどの方法だったかを記号で答える。

A)自分 B)専門家 C)友人知人 D)スコレ E)未解決

質問項目と回答との関係

質問項目	回答方法	質問数	質問のジャンル						
大項目レベル		6項目		「仕事」	「家計・経済」	「親・兄弟姉妹」	「失婦間」	「子ども」	「自分自身」
中項目レベル		21項目		5項目	4項目	4項目	2項目	4項目	2項目
小項目レベル	該当印	70項目		15項目	14項目	10項目	6項目	10項目	15項目
(下記回答は「過去に経験した悩み」+「現在抱えている悩み」合計ベース)									
回答人数	(複数回答)	398		169	51	35	23	54	66
1人当り平均	(小項目ベース)	5.7項目		2.4項目	0.7項目	0.5項目	0.3項目	0.8項目	0.9項目

回答数字は、原則「実数」「回答人数」である。(表は実数、円グラフは%による)

小項目レベルでの回答数が、7~13あれば回答者の10%が、14以上有れば20%以上の人が該当したリスク度の高い項目であることを意味する。

上記に付随して、質問項目が、これは「社会的な問題」として大きいと感ずるものを会員意見として集計した。

< 2 > 本調査票に関しての会員意見を自由記載してもらったが、スペースの関係で略記している。

調査票

書式と内容は次ページ現物を参照。

第2回 会員アンケート結果 集計表

質問・1) 貴方の現在の年代は？ (該当年代に 印)

表 1

		(人数)			
	20～30代	40代	50代	60代以上	回答人数計
回答会員数	6	20	17	27	70
構成比%	8.6%	28.6%	24.3%	38.6%	100.0%

(表 - 1 説明)
 回答者70人の年代分布は、前回調査比で40才台が若干少なく60才以上が多かった。
 会員全体と年代構成とは大きく乖離している訳ではない。

質問・2) 貴方は、『特技・資格、あるいは得意の分野』をお持ちですか？
 次の項目から該当するものに 印をお願いします。(積極的に判断してください)

表 2 - 1 保持する資格は何か？

(人数)

特技・資格		年代別分布状況			
名称	資格者数	20～30代	40代	50代	60代以上
医師					
看護師	1	1			
介護士					
会計士					
税理士	2		1		1
社労士	1				1
フィナンシャル・アドバイザー・FA					
中小企業診断士	3	1		1	1
情報処理資格					
教員	4	1		1	2
弁護士					
司法書士	1				1
建築士	4			3	1
不動産鑑定士					
宅地建物取引主任者	3			1	2
土地家屋調査士	1				1
マンション管理士					
保護司	1				1
生活相談員					
民生委員					
児童委員					
小計	21	3	1	6	11

(人数)

特技・資格		年代別分布状況			
名称	資格者数	20～30代	40代	50代	60代以上
整備士	3	1	1	1	
年金アドバイザー	1	1			
衛生管理者	2	1			1
危険物取扱	1		1		
ボイラー	1		1		
著作権・登録出願 地質調査・構造物	1		1		
震災危険判定士	1			1	
簡裁代理役	1				1
小計	12	3	4	3	2
合計	33	6	5	9	13

(表 2 - 1 説明)
 回答者70名の「保持する資格」は多様である。
 資格ゼロから複数保持まで形態は様々だが、危機管理に直接間接に関係する資格も多く、又男性は現実的に資格 = 仕事の側面もある。
 年代的特徴としては、40代が少なく50才以上で順次資格取得が多くなっている。

【質問・2】

表 2 - 2 得意な実務分野は何か？

(人数)

得意な分野		年代別分布状況				特徴・コメント
分野	回答人数	20～30代	40代	50代	60代以上	
外国語(英)	4	2	2			資格 貿易業
相続問題	6			2	4	行政事務所兼業・遺言作成・相続税
建築分野	5		2	2	1	管工事 耐震構造
介護実務						
防犯						
事業経営	5		1	1	3	営業 マーケティング
会計 財務	5		1	1	3	
人事 総務	6			2	4	人事システム・採用実務
パソコン	6		5		1	自作PC 一通り・EXCEL・ネット
登記実務	3			1	2	登記関係アドバイス 変更登記・
労働問題						
行政実務	3		1	2		行政書士兼業
小計	43	2	12	11	18	
NPO活動	3			都市防災	日本在外企業協会 管理組合	
人に役立つ趣味 (指導できる)	12	釣り	空手師範 テニスコーチ	写真 結婚仲介 テニス 笑顔 水泳	機械工学 フォトフィッシャー 健康法 座禅・冥想	

(表 2 - 2 説明)

<複数回答あり>
前掲の「保持する資格」に続いて「得意な分野」を選択して貰った。選択肢は限定しているので、これ以外も当然ある。

年代的特徴としては、若年層では語学IT関係が強く、50代以上ではマネジメント分野(経営 総務)と相続問題に強い傾向がある。

NPO活動や役立つ趣味も、割とユニークなジャンルが多く、今後この分野への一般的関心が高まると思われる。

(質問3 説明)

【質問・3】 危機管理研究会では、男性の持つ特技・資格、得意な分野について、何らかの会員間の相互交流の手法(例えば、困った時の会員生活カウンセリング)で、助け合システムを考えています。その時機が来た場合に、貴方は参画して戴けますか？

<該当項目に 印>

その能力がない	19 (人)	協力できない	2 (人)	時機・内容を見て協力する	28 (人)	喜んで協力する	15 (人)	回答総数	64 (人)
---------	-----------	--------	----------	--------------	-----------	---------	-----------	------	-----------

以上の資格・特技を会員組織の中で発揮する機会があれば参画したいとする方は67%あった。
自分の能力を社会貢献活動に活かしたいというニーズは潜在的に強い。

3. 【質問4】調査結果の概要 (まとめ)

6つの質問ジャンル (大項目) からの集計結果

- < 1 > 悩み、ストレスを感じるジャンルとして採り上げた項目で最も多かったのが「仕事」であった。全回答数398件のうち「仕事」が169件あり、42%を占め、突出した結果となった。
- < 2 > 次に多かったのは、「自分自身」で回答数66件である。(16.7%)
三番目が「子ども」で54件(13.6%)、四番目は「家計・経済」の51件(12.8%)であった。
更に「親・兄弟姉妹」35件(8.8%)と最後に「夫婦間」が23件(5.8%)となった。

6つのジャンル (大項目) は「過去に経験したこと」か、「現在抱えている問題」か？

- < 1 > 悩み・ストレスの発生時期を6大項目で見ると、全体回答398件中、「過去に経験した出来事」と答えたのは、220件(55.3%)。現在抱えている問題」としたのは178件(44.7%)の構成比であった。
- < 2 > 「過去に経験した出来事」で見ると、回答数220件の1位は「仕事」が63%で突出した。やはり男性は、仕事の悩みがその中心軸を占めている。
2位は、「子ども」11%、3位は「家計・経済」10%、4位が「親・兄弟姉妹」6%で、最後に「夫婦間」と「自分自身」が5%の同率であった。
- < 3 > 現在抱えている問題」の切り口では、回答178件のうち1位が「自分自身」32%、2位は、「仕事」と「家計・経済」が同率の17%、次いで4位が「子ども」16%、5位「親・兄弟姉妹」が12%、そして6位が「夫婦間」6%であった。

< 参照資料 >

(表4-1)

(表4-1)
(グラフ4-1)

(表4-1)
(グラフ4-1)

(グラフ4-2)

(グラフ4-3)

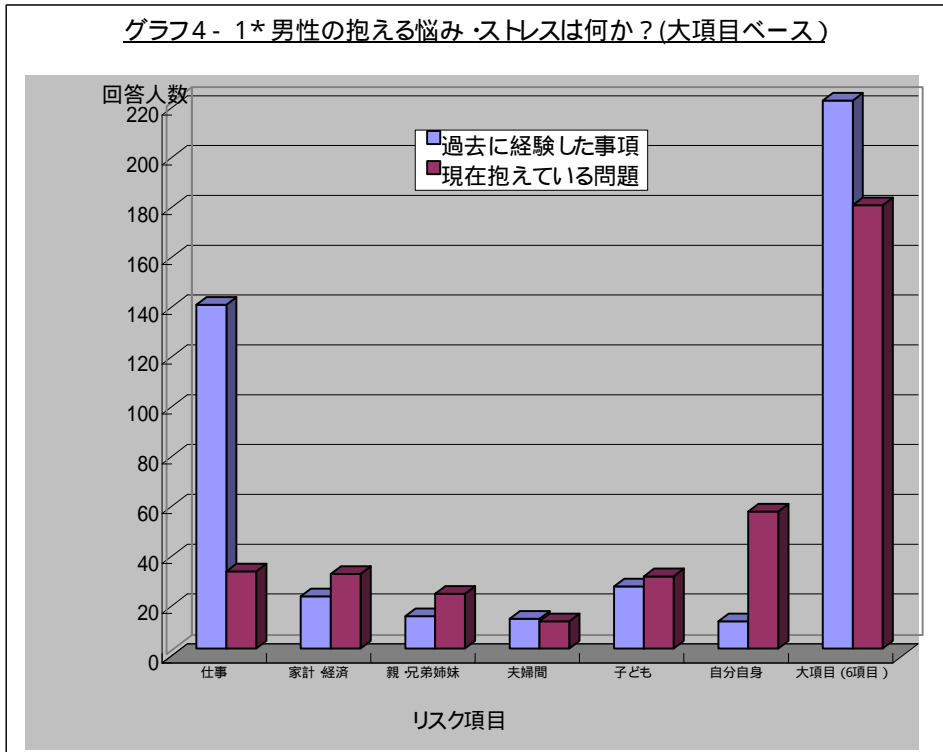
質問 4】 会員の抱える悩み・プレッシャー・ストレス(リスク)は何か？

<大項目ベース>

表 4- 1

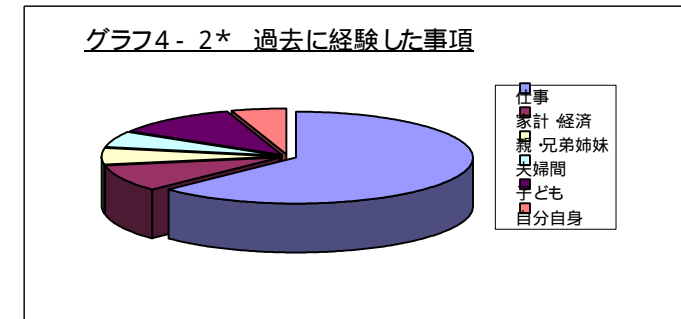
調査票 質 問 事 項			回 答 合 計							
集計資料	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください) 選択数《15項目》	イ	ロ	、 の場合その解決方法は？					A・E合 計
			過去に経験し た事項	現在抱えている 問題	A	B	C	D	E	
別紙 - 1	1	仕事	138	31	89	5	25	15	28	162
別紙 - 2	2	家計 経済	21	30	16	6	1	2	18	43
別紙 - 3	3	親・兄弟姉妹	13	22	14			2	17	33
別紙 - 4	4	夫婦間	12	11	8	2	3	4	7	24
別紙 - 5	5	子ども	25	29	13	3	1	11	21	49
別紙 - 6	6	自分自身	11	55	12	9	1	4	36	62
		大項目 (6項目)	220	178	152	25	31	38	127	373

グラフ 4- 1* 男性の抱える悩み・ストレスは何か？(大項目ベース)

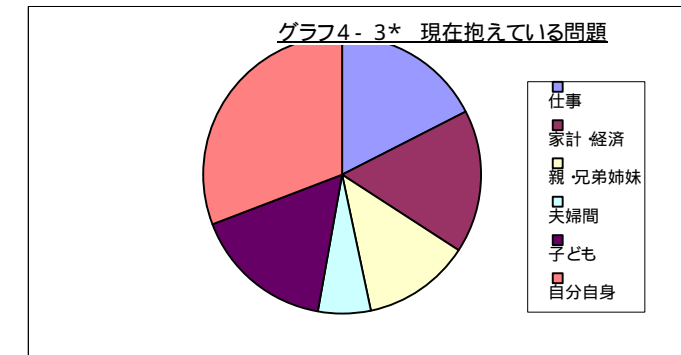


<男性の抱える悩み・ストレス 過去 / 現在 >

グラフ 4- 2* 過去に経験した事項



グラフ 4- 3* 現在抱えている問題



21の「中項目」でリスクの高い項目(回答の多かった項目)を検証すると。

- < 1 > 表4-2によれば、男性のストレス、悩みの1位は「職場の人間関係」42件である。次に多いのが「こころと身体」の41件となる。三番目に多かったのは「会社の現状、将来への不安」4位が「仕事が上手くいかない」34件、5位が「昇降格・職種・職場変更」31件、6位「生活設計」29件、7位「転職・単身赴任」26件、8位「生きがい」25件で、9位が「子どもの進路」23件が上位を占めた。
- < 2 > 以上から「仕事」項目が圧倒的に高いウェイトを示したが、中でも「職場の人間関係」は40代から下が現実的問題として、又60代以上は過去に悩んだ問題として挙げられる永遠のテーマである。又、第3位となった「会社への不安」は、バブル崩壊後の経済不安を象徴する回答である。
- < 3 > 実は、質問70項目の中に、例えば「仕事に意欲が湧かない」とか「新しい仕事に不安がある」、あるいは「生きがいを持ってない」「何をするにも億劫である」という項目を設けている。又、「毎日気分が優れない」「不眠症に悩んでいる」といった健康面の項目を含めた質問がある。これらは、俗に言う「うつ病診断項目群」であり、もしこれら複数の項目に現在、該当すると思われる方は要注意である。
- < 4 > うつ病に関して言えば、「仕事」の項目の中で(職場の人間関係)「うつ病の人との関わりに悩む」に回答した人が6名いた。又「自分自身」の問題(こころと身体)「うつ病ではないかと不安に感ずる」と回答した方が4名。「職場でのうつ病問題」「自分自身のうつ病不安」とも、その大部分は未解決となっている(6名)。このように、今や「うつ病」は身近な問題となっている。

以上の集計データについて

- < 1 > 大項目「仕事」「家計・経済」「親・兄弟姉妹」「夫婦間」「子ども」「自分自身」の6ジャンルと21の中項目、具体的回答状況を示す70の小項目の集計データを次ページ以下に纏めている。
- < 2 > 表中に回答の高かった項目は、表示がしてあります。過去に経験したり、現在抱えている問題として回答者の20%(14人)以上の方がリスク項目に取上げたもので、危機管理度の高い項目と判断される。上記に準じるが、回答者の10%(7~9人)がリスクと感じている項目。

< 参照資料 >

(表4-2)
(グラフ4-4)

(表4-2)

(別紙-1)
(別紙-6)

(別紙-1)~
(別紙-6)

表4-2

リスクの高かった項目は何か？			
大項目	回答件数	中項目	順位
【1】 仕事	34	仕事がうまくいかない	4位
	42	職場の人間関係	1位
	26	転勤・単身赴任	7位
	31	昇格・降格・職種・職場変更	5位
	36	会社の現状、将来性に不安	3位
	計 169	(1位)	
【2】 家計 経済	29	生活設計	6位
	15	借金・ギャンブル・トラブル	
	3	詐欺に引っかった	
	4	自宅購入・建替・売却・転居	
	計 51	(4位)	
【3】 親・兄弟姉妹	17	扶養問題	5位
	5	財産相続・遺言・贈与	
	4	父母・義父母との人間関係	
	9	その他(兄妹・親戚・近所付き合い)	
	計 35	(5位)	
【4】 夫婦間	17	性格・価値観の相違	6位
	6	離婚の危機	
	計 23	(6位)	
【5】 子ども	10	子育ての悩み(性格、事件、事故)	9位
	11	引きこもり・不登校問題	
	23	子どもの進路・就職問題	
	10	子どもの病気・健康問題	
	計 54	(3位)	
【6】 自分自身	25	生きがい・人生観・定年後	8位
	41	ことごとと身体	2位
	計 66	(2位)	
合計	398	全 21項目	

調査票と本報告書の表現の関係

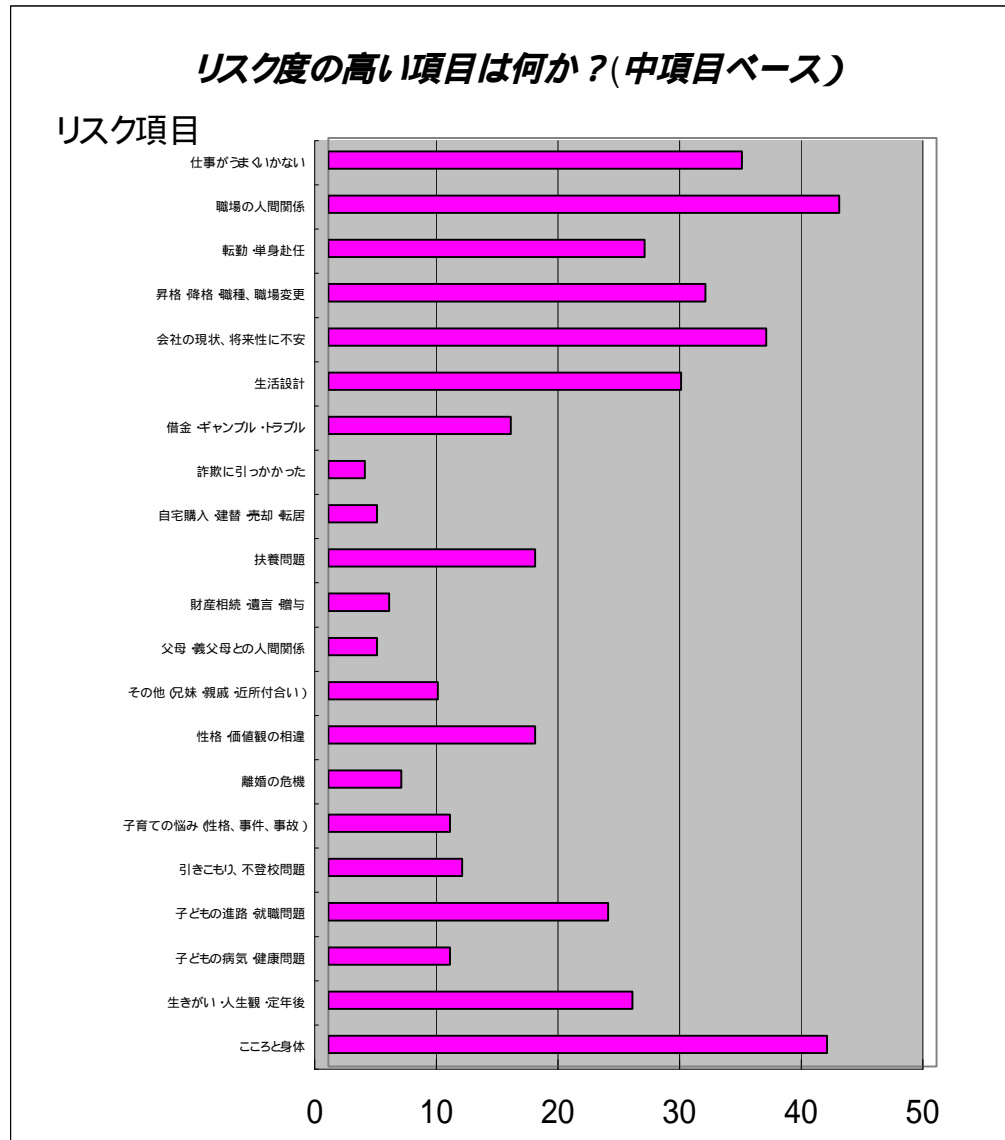
調査票の質問事項の表現		
区分	リスク項目	抱える悩み

6項目	21項目	70項目
-----	------	------

大項目	中項目	小項目
本報告書の表現		

小項目の回答数
延べ398項目

グラフ4-4



別紙- 1

1表 - 全体 (仕事)

質問事項		回答合計							リスク 度大	
		イ	ロ	、の場合その解決方法は？						
区分	リスク項目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
1 仕事	仕事がうまくいかない 回答数(イ+ロ)34	仕事に取り組む意欲、気力がない	15	2	8	1	4	3	1	
		自信のない仕事を与えられた	15	1	11	1	3	1	0	
		* 転職問題	0	1	0	0	0	0	1	
	職場の人間関係 回答数(イ+ロ)42	上司・同僚とのコミュニケーションが煩わしい	19	3	12	0	2	3	3	
		職場でのトラブルを抱えている	11	3	5	1	4	2	2	
		うつ症の人との関わりに悩む	4	2	3	1	0	0	2	
	転職・単身赴任 回答数(イ+ロ)26	新しい職場が合わない。新しい仕事に不安がある。	12	0	8	0	2	1	0	
		知らない土地での生活、社宅の人間関係に不安	6	0	3	0	3	0	0	
		家族と別れて暮らすのはいやだ。単身生活が不安。	2	0	1	0	0	0	0	
		単身生活とその職場で強いストレスを受けた	6	0	6	0	0	0	0	
	昇格・降格・職種、職場変更 回答数(イ+ロ)31	慣れない仕事に取り組む不安が大きい	11	2	9	0	2	0	1	
		責任ある地位、仕事はしたくない	2	3	2	0	1	0	1	
		自分の仕事をきちんと評価してくれない。昇進の限界。	9	4	5	0	1	3	5	
	会社の現状、将来性に不安 回答数(イ+ロ)36	倒産・リストラの危機	9	2	7	0	1	1	1	
		給与等処遇に不満がある	8	3	5	0	0	0	6	
		過重労働問題 (過労死・サービス残業)	8	5	4	1	1	1	5	
		* 資金繰りがうまくいかない	1	0	0	0	1	0	0	
			合 計	138	31	89	5	25	15	28

回答の高かった項目について》

過去に経験したり、現在抱えている問題として回答者の20% (14人)以上の方がリスク項目に取上げたもので、危機管理度の高い項目と判断される。
上記に準じるが、回答者の10% (7~9人)がリスクと感じている項目。

2表 - 全体 (家計 経済)

質 問 事 項		回 答 合 計								
		イ	ロ	、 の場合その解決方法は？					リスク 度大	
区 分	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D		E
2 家計 経済	生活設計 回答数(イ+ロ)29	家計が苦しい	1	11	4	0	0	0	6	
		資産運用の方法が判らない	0	4	0	0	0	0	3	
		年金問題。老後の生活設計に不安。	0	13	1	0	0	0	7	
		専門家を上手に活用するには	0	0	0	0	0	0	0	
	借金・ギャンブル・トラブル 回答数(イ+ロ)15	サラ金から多額の借財がある(多重債務)保証人問題	2	0	1	0	0	1	0	
		ギャンブル好きだ	0	1	0	0	0	0	1	
		商品相場で大損をした	2	0	2	0	0	0	0	
		交通事故を起こしてしまった	7	0	4	2	1	0	0	
		スーカー被害	2	0	1	2	0	0	0	
		* カード盗難被害	1	0	0	0	0	1	0	
	詐欺に引っかかった 回答数(イ+ロ)3	マルチ商法・悪徳商法・霊感商法被害	2	0	0	2	0	0	0	
		おれおれ詐欺 振り込め詐欺 架空請求	1	0	1	0	0	0	0	
	自宅購入 建替 売却 転居 回答数(イ+ロ)4	欠陥住宅問題、マンション管理問題で悩んでいる	1	0	0	0	0	0	0	
		売買 納税関係知識が必要	2	1	2	0	0	0	1	
	合 計			21	30	16	6	1	2	18

3表 - 全体 (親 / 兄弟姉妹)

質 問 事 項		回 答 合 計								
		イ	ロ	、 の場合その解決方法は？					リスク 度大	
区 分	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D		E
3 親 兄弟 姉妹	扶養問題 回答数(イ+ロ)17	老親の扶養問題	1	8	1	0	0	0	8	
		兄弟間での役割分担問題	1	2	1	0	0	0	1	
		親との同居問題	5	0	4	0	0	1	0	
	財産相続・遺言・贈与 回答数(イ+ロ)5	家族関係が複雑で相続争いが心配	0	3	0	0	0	0	1	
		遺言書の作り方	0	0	0	0	0	0	0	
		身寄りがなく資産管理、墓守が不安	0	0	0	0	0	0	0	
		夫婦のみ家族だが遺産相続でもめている。	0	2	0	0	0	0	2	
	父母・義父母との人間関係 回答数(イ+ロ)4	姑、舅と上手くいかない	1	3	1	0	0	0	2	
	その他 (兄妹・親戚・近所付き合い) 回答数(イ+ロ)9	兄弟間、親戚とのトラブルがある	3	1	6	0	0	0	1	
		近所付き合いが上手く行っていない	2	3	1	0	0	1	2	
	合 計			13	22	14	0	0	2	17

4表 - 全体 (夫婦間)

質 問 事 項		回 答 合 計							リスク 度大
		イ	ロ	、 の場合その解決方法は？					
区 分	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
4 夫婦間	性格・価値観の相違 回答数(イ+ロ)17	コミュニケーション不足を感じている	5	9	3	0	0	3	5
		夫婦仲が悪い。	2	1	2	0	0	0	1
		家庭内暴力(DV)	0	0	0	0	0	0	0
	離婚の危機 回答数(イ+ロ)6	離婚の危機があった	3	1	1	1	2	1	1
		子どもの扶養問題、生活基盤の問題で悩んだ。	0	0	0	0	0	0	0
		離婚裁判に発展した	2	0	2	1	1	0	0
	合 計			12	11	8	2	3	4

5表 - 全体 (子ども)

質 問 事 項		回 答 合 計									
区 分	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	イ	ロ	、の場合その解決方法は？					リスク 度大	
			過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E		
5 子ども	子育ての悩み (性格、事件、事 回答数(イ+ロ)10	善悪の区別がない、規律性の欠如	0	3	0	0	0	0	3		
		思いやるこころ、自己愛が育たない	0	5	0	0	0	1	3		
		事件 事故を起こした (巻き込まれた)	2	0	2	0	0	0	0		
	引きこもり 不登校問題 回答数(イ+ロ)11	否定的体験で育つ内発力の弱い子をどうするか悩む	2	0	0	0	0	0	1		
		ひきこもり、不登校状態	8	1	0	1	1	6	1		
	子どもの進路・就職問題 回答数(イ+ロ)23	進学、進路問題で悩んだ (含む塾・浪人生)	6	1	4	1	0	2	1		
		「フリーター」「ニート」等不就業問題がある	0	3	0	0	0	0	2		
		仕事が上手い/いかないようだ。	1	2	0	0	0	1	1		
		子どもの結婚・離婚・生活設計に不安がある	1	9	1	0	0	0	6		
	子どもの病気・健康問題 回答数(イ+ロ)10	事故、急病・アレルギー性疾患・食育問題を抱えている	5	5	6	1	0	1	3		
	合 計			25	29	13	3	1	11	21	

6表 - 全体 (自分自身)

質 問 事 項		回 答 合 計							リスク 度大		
区 分	リ ス ク 項 目	抱える悩み・プレッシャー・ストレスの内容 (それ以外に該当する事柄があれば空行に追記してください)	過去に経験した事項	現在抱えている問題	、の場合その解決方法は？						
			イ	ロ	A	B	C	D	E		
6	自分自身	生きる力が持てない。人生が楽しくない	0	4	0	0	0	1	3		
		人生の目標を失った(年令に関係ない問題)	2	2	2	0	0	0	2		
		自殺を考える事がある	0	1	1	0	0	0	0		
		身近に相談相手がいない	1	1	1	0	0	0	1		
		自己嫌悪に陥る(性格性向 学歴 生育歴ほか)	1	7	3	0	1	0	4		
		仕事以外に自分の居場所がない	0	3	0	0	0	0	3		
		老後の生きがいを見つけれない	0	3	0	0	0	0	3		
	こころと身体	何をしても億劫な感じがする	1	3	0	1	0	0	3		
		うつ病ではないかと不安に感じる(脅迫精神症など)	1	3	0	2	0	0	3		
		持病を抱えている(高血圧、肥満、糖尿)	0	10	1	3	0	1	4		
		三大成人病(がん、脳梗塞、心臓疾患)が怖い	2	5	1	2	0	1	3		
		毎日気分が優れない。体調が悪い。	1	3	1	0	0	0	2		
		不眠症に悩んでいる	1	3	0	1	0	1	2		
		禁酒 禁煙ができない	1	6	1	0	0	0	3		
		長期入院した	0	1	1	0	0	0	0		
合 計			11	55	12	9	1	4	36		

年代層別にみた6つのジャンルの特徴について

- < 1> 「仕事」
仕事上、悩みとストレスを感じるのは40才代がトップであった。次いで50才代となるが、60才代以上はリタイア世代なので、これらのリスクも「過去の経験した出来事」となる。さすがに、30才代までは「現在の悩み」として捉える回答が多かった。
- < 2> 「家計・経済」
どの層も、「現在抱えている問題」と多く回答している。中でも、「30才代まで」と「50才代」に多いのは、一方が子育て、もう片方が進学時期として頷けるものがある。
- < 3> 「親・兄弟姉妹」
この項目も「過去の出来事」としてより「現在抱えている問題」との回答が多かった。50才代が抱える問題として、他の年代層比、トップを占めている。
- < 4> 「夫婦間」
40才代と50才代に回答が多かった。中でも、40才代は「現在抱える問題」として、50才代は「過去の出来事」として採り上げている。
- < 5> 「子ども」
子どもは親にとって幾つになっても心配、不安のタネである。年代を経るごとに回答数が多く、60才を過ぎた層の子どもへの不安材料が最も高く、それは過去ではなく、「現在の問題」として捉えられている。
- < 6> 「自分自身」
他の5つのジャンルに比べ、「現在抱える問題」としての回答が突出していたのが特徴である。この傾向は、どの年代層も共通しているが、「生活習慣病」とか「三大成人病」に対する不安が結構多い。

以上の集計データについて

- < 1> 項目を年代層別、すなわち「20～30才代」「40才代」「50才代」と「60才代以上」の4つに分類した集計データを添付した。

< 参照資料 >

(グラフ4-5)

(グラフ4-5)

(グラフ4-5)

(グラフ4-5)

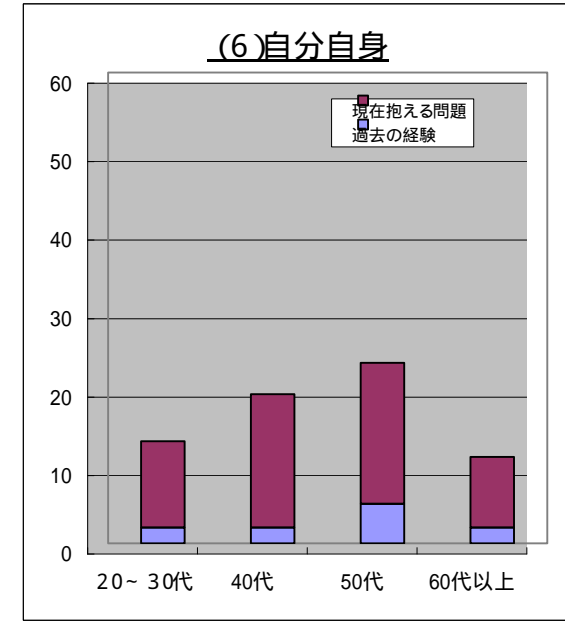
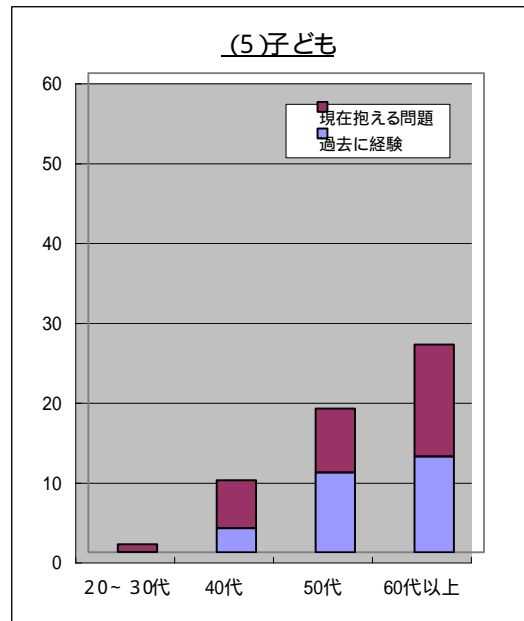
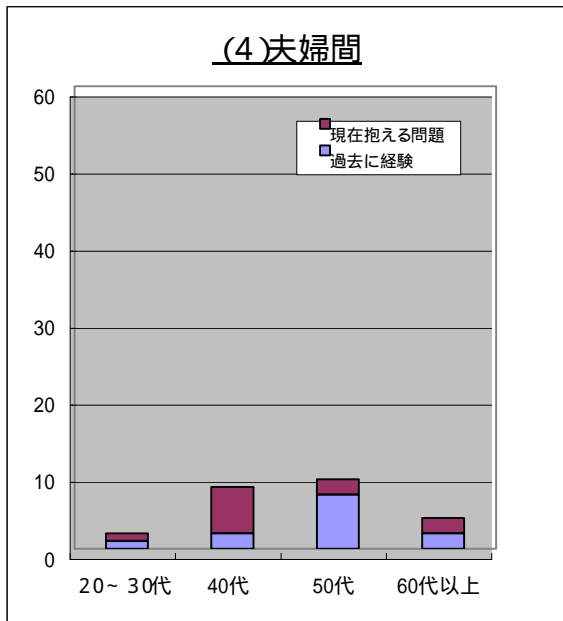
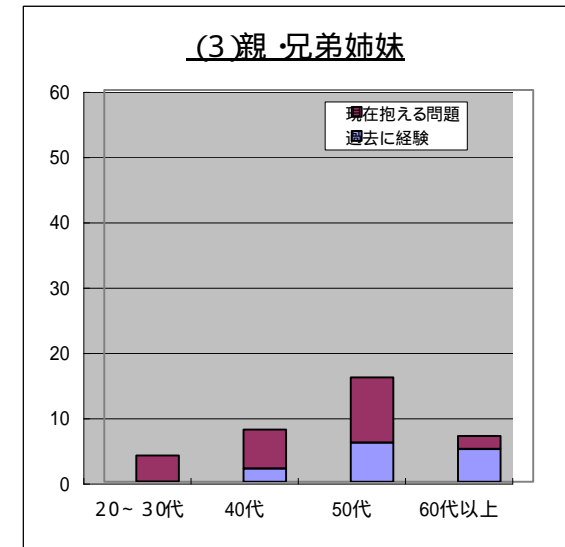
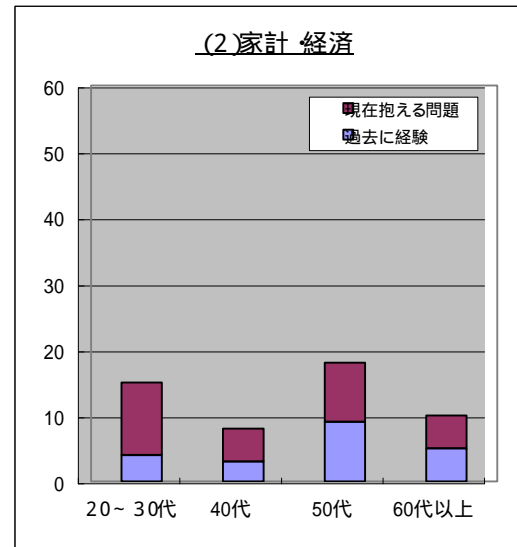
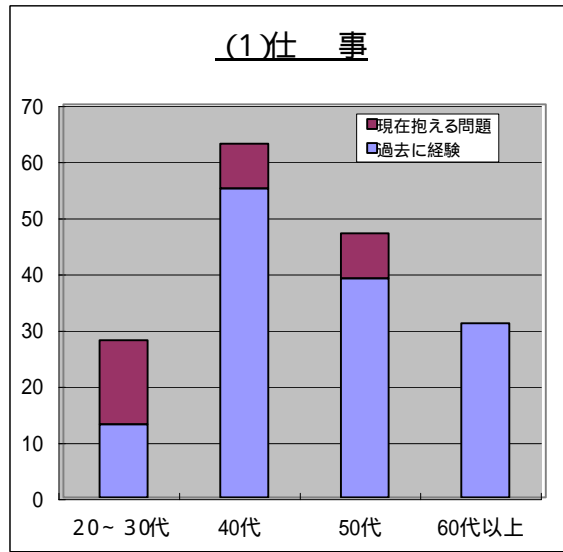
(グラフ4-5)

(グラフ4-5)

(付表・1表～6表)

年代別・リスク分布状況 (大項目ベース)

グラフ 4-5



【附表】

1表 - 回答数 6

項目) 仕事	20~30才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
仕事に取り組む意欲、気力がない	2	1	1	1	1		
自信のない仕事を与えられた	3	1	2	1	1		
* 転職問題							
上司・同僚とのコミュニケーションが煩わしい	2	2			2	2	
職場でのトラブルを抱えている	2	3	1	1	1	2	
うつ症の人の関わりに悩む		2		1		1	
新しい職場が合わない。新しい仕事に不安がある。	2		2	1			
知らない土地での生活、住宅の人間関係に不安 家族と別れて暮らすのはいや た。単身生活が不安。 単身生活とその職場で強いストレスを受けた							
慣れない仕事に取り組む不安が大きい	1	1	1	1			
責任ある地位、仕事はしたくない 自分の仕事をきちんと評価してくれない。昇進の限界。		1				1	
倒産・リストラの危機							
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	1	3	1	1	2		
* 資金繰りが上手くいかない							
	13	15	8	4	8	0	9

仕事のやり甲斐、達成感を模索する年代だけに、仕事への不安と職場での意思疎通も現在抱える大きな問題である。働き過ぎという現実に対する不満が大きい。うつ病対応の回答はこの年代層のみ。

回答が比較的集中して高い項目

1表 - 回答数 20

項目) 仕事	40才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
仕事に取り組む意欲、気力がない	8		4	1	3		
自信のない仕事を与えられた	6		6				
* 転職問題		1				1	
上司・同僚とのコミュニケーションが煩わしい	8		6		2		
職場でのトラブルを抱えている	4		3		1		
うつ症の人の関わりに悩む							
新しい職場が合わない。新しい仕事に不安がある。	5		5				
知らない土地での生活、住宅の人間関係に不安 家族と別れて暮らすのはいや た。単身生活が不安。 単身生活とその職場で強いストレスを受けた	2		2				
慣れない仕事に取り組む不安が大きい	1		1				
責任ある地位、仕事はしたくない 自分の仕事をきちんと評価してくれない。昇進の限界。	1		1				
倒産・リストラの危機							
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	6		5				
* 資金繰りが上手くいかない	1	2	1			1	
	5	2	3	1	2	2	
倒産・リストラの危機	4		2	1	1		
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	2	1	2			1	
	2	2	1			2	
* 資金繰りが上手くいかない							
	55	8	42	0	3	9	7

働き盛りの層。この質問項目には集中して回答が多い。只、若い時に乗り越えた仕事の悩み、職場の意思疎通問題よりも、昇格異動処遇と悩みは拡がっている。

1表 - 回答数 17

項目) 仕事	50才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
仕事に取り組む意欲、気力がない	3	1	2	1	1		
自信のない仕事を与えられた	6		3	2	1		
* 転職問題							
上司・同僚とのコミュニケーションが煩わしい	4	1	1		1	1	
職場でのトラブルを抱えている	2			2			
うつ症の人の関わりに悩む	2		2				
新しい職場が合わない。新しい仕事に不安がある。	4		1	1	1		
知らない土地での生活、住宅の人間関係に不安 家族と別れて暮らすのはいや た。単身生活が不安。 単身生活とその職場で強いストレスを受けた	2		1	1			
慣れない仕事に取り組む不安が大きい	1						
責任ある地位、仕事はしたくない 自分の仕事をきちんと評価してくれない。昇進の限界。	2		2				
倒産・リストラの危機							
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	3	1	2	1	1		
* 資金繰りが上手くいかない	1	1	1			1	1
	1	1				1	1
倒産・リストラの危機	3	2	3			1	
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	3	1	2			2	
	2		1			1	
* 資金繰りが上手くいかない							
	39	8	21	0	9	4	8

50才代の悩みは40才代と同様な傾向が見られた。転勤・転職と企業のリストラ問題も以前とは違う経済環境がもたらしたものと言える。

1表 - 回答数 27

項目) 仕事	60才代以上						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
仕事に取り組む意欲、気力がない	2		1	1			
自信のない仕事を与えられた							
* 転職問題							
上司・同僚とのコミュニケーションが煩わしい	5		5				
職場でのトラブルを抱えている	3		1	1	1		
うつ症の人の関わりに悩む	2		1			1	
新しい職場が合わない。新しい仕事に不安がある。	1						
知らない土地での生活、住宅の人間関係に不安 家族と別れて暮らすのはいや た。単身生活が不安。 単身生活とその職場で強いストレスを受けた	2				2		
慣れない仕事に取り組む不安が大きい	3		3				
責任ある地位、仕事はしたくない 自分の仕事をきちんと評価してくれない。昇進の限界。	1		1				
倒産・リストラの危機							
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	3		2				
* 資金繰りが上手くいかない	1					1	
	1					1	
倒産・リストラの危機	2		2				
給与等処遇に不満がある 過重労働問題 (過労死・サービスクル)	3		1			2	
	3		1	1		1	
* 資金繰りが上手くいかない	1				1		
	31	0	18	1	5	2	4

「仕事」の項目に対する60才代以上の層は全て「過去の悩み」として経験した回答のみであった。職場の意思疎通問題は年代を問わない永遠のテーマ。

【附表】

2表 -

項目	20~30才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
家計、経済	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
家計が苦しい		3	2				1
資産運用の方法が判らない		3					2
年金問題、老後の生活設計に不安。		4					3
専門家を上手に活用するには							
サラ金から多額の借財がある(多重債務)保証人問題	2		1			1	
ギャンブル好きだ		1					1
商品相場で大損をした							
交通事故を起こしてしまった	1		1				
スーカー被害							
*カード盗難被害							
マルチ商法・悪徳商法・変態商法被害	1			1			
おれおれ詐欺 振り込め詐欺 架空請求							
欠陥住宅問題、マンション管理問題で悩んでいる							
売買 納税関係知識が必要							
	4	11	4	1	0	1	7

現在の悩み、問題点として「家計が苦しい」
 関心項目として「資産運用」将来への不安
 として「年金問題」が中心テーマで挙がった。

2表 -

項目	40才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
家計、経済	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
家計が苦しい		3					2
資産運用の方法が判らない							
年金問題、老後の生活設計に不安。		1	1				
専門家を上手に活用するには							
サラ金から多額の借財がある(多重債務)保証人問題							
ギャンブル好きだ							
商品相場で大損をした	1		1				
交通事故を起こしてしまった	2				1		
スーカー被害							
*カード盗難被害							
マルチ商法・悪徳商法・変態商法被害							
おれおれ詐欺 振り込め詐欺 架空請求							
欠陥住宅問題、マンション管理問題で悩んでいる							
売買 納税関係知識が必要		1					1
	3	5	2	0	1	0	3

2表 -

項目	50才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
家計、経済	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
家計が苦しい	1	3	2				2
資産運用の方法が判らない		1					1
年金問題、老後の生活設計に不安。		5					3
専門家を上手に活用するには							
サラ金から多額の借財がある(多重債務)保証人問題							
ギャンブル好きだ							
商品相場で大損をした	1		1				
交通事故を起こしてしまった	4		3	2			
スーカー被害	1		1	1			
*カード盗難被害	1						1
マルチ商法・悪徳商法・変態商法被害							
おれおれ詐欺 振り込め詐欺 架空請求							
欠陥住宅問題、マンション管理問題で悩んでいる							
売買 納税関係知識が必要	1		1				
	9	9	8	3	0	1	6

年金への不安が身近な問題である。
 過去には家族の交通事故対応が大きな
 問題となっていた。

2表 -

項目	60才代以上						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
家計、経済	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
家計が苦しい		2					1
資産運用の方法が判らない							
年金問題、老後の生活設計に不安。		3					1
専門家を上手に活用するには							
サラ金から多額の借財がある(多重債務)保証人問題							
ギャンブル好きだ							
商品相場で大損をした							
交通事故を起こしてしまった							
スーカー被害	1			1			
*カード盗難被害							
マルチ商法・悪徳商法・変態商法被害	1				1		
おれおれ詐欺 振り込め詐欺 架空請求	1			1			
欠陥住宅問題、マンション管理問題で悩んでいる							
売買 納税関係知識が必要	1			1			
	5	5	2	2	0	0	2

【附表】

3表 -

項目 親 兄弟	20~30才代						
	イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
老親の扶養問題	0	1	0	0	0	0	1
兄弟間での役割分担問題	0	0	0	0	0	0	0
親との同居問題	0	0	0	0	0	0	0
家族関係が複雑で相続争いが心配	0	2	0	0	0	0	1
遺言書の作り方	0	0	0	0	0	0	0
身寄りがなく、資産管理、墓守が心配	0	0	0	0	0	0	0
夫婦のみ家族だが遺産相続でも	0	1	0	0	0	0	1
姉、舅と上手くいかない	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
兄弟間、親戚とのトラブルがある	0	0	0	0	0	0	0
近所付き合いが上手く行っていない	0	0	0	0	0	0	0
	0	4	0	0	0	0	3

3表 -

40才代							
イ	ロ	、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	3	0	0	0	1
	2	2	0	0	0	1	2
	2	6	3	0	0	1	6

3表 -

50才代							
イ	ロ	、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E
	0	5	0	0	0	0	5
	1	2	1	0	0	0	1
	3	0	3	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	1	2	1	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	1	0	0	0	0
	0	0	1	0	0	0	0
	6	10	7	0	0	0	7

老親の扶養問題が大きい。

3表 -

60才代以上						
イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D
	1	1	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	2	0	1	0	0	1
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	2	0	2	0	0	0
	0	1	0	0	0	0
	5	2	4	0	0	1

【付表】

4表 -

		20~30才代						
		イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
項目 夫婦間	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
		コミュニケーション不足を感じている		1	1			
	夫婦仲が悪い	1		1				
	家庭内暴力(OV)							
	離婚の危機があった 子どもの扶養問題、生活基盤の問題で悩んだ							
	離婚裁判に発展した							
		1	1	2	0	0	0	0

4表 -

		40才代						
		イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
項目 夫婦間	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
		コミュニケーション不足を感じている		4				3
	夫婦仲が悪い	1					1	
	家庭内暴力(OV)							
	離婚の危機があった 子どもの扶養問題、生活基盤の問題で悩んだ	2	1		1	1	1	
	離婚裁判に発展した							
		2	6	0	0	1	1	5

4表 -

		50才代						
		イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
項目 夫婦間	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
		コミュニケーション不足を感じている		3	2	1		2
	夫婦仲が悪い	1		1				
	家庭内暴力(OV)							
	離婚の危機があった 子どもの扶養問題、生活基盤の問題で悩んだ	1		1	1	1		
	離婚裁判に発展した	2		2	1	1		
		7	2	5	2	2	2	2

4表 -

		60才代以上						
		イ	ロ	、の場合その解決方法は？				
項目 夫婦間	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
		コミュニケーション不足を感じている		2	2	1		
	夫婦仲が悪い							
	家庭内暴力(OV)							
	離婚の危機があった 子どもの扶養問題、生活基盤の問題で悩んだ							
	離婚裁判に発展した							
		2	2	1	0	0	1	0

父親は仕事、母親は子育てのそれぞれに重要期の中、問題も先鋭化して夫婦間の意思疎通は現在抱える問題として大きい。

50代も夫婦間のコミュニケーションギャップを挙げているが、40代とは傾向が異なる。

【付表】

5表 -

項目 子ども	20~30才代									
	イ		ロ		、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E			
善悪の区別がない、規律性の欠如										
思いやるどころ、自己愛が育たない										
事件・事故を起こした(巻き込まれた)										
否定的体験で育つ内発力の弱い子をどうするか悩む										
ひきこもり、不登校状態										
進学、進路問題で悩んだ(含む塾・浪人生)										
「フリーター」「ニート」等不就業問題がある										
仕事が上手い/出来ないようだ。子どもの結婚・離婚・生活設計に不安がある										
事故、急病・アレルギー・性疾患・貧血問題を抱えている		1	1							
	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0

5表 -

項目 40才代	40才代									
	イ		ロ		、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E			
		2					2			
		3				1	2			
	2					2				
	1	1	1				1			
	3	6	1	0	0	3	5			

5表 -

項目 50才代	50才代									
	イ		ロ		、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E			
		1					1			
		1					1			
	2	1		1	1	1	1			
	4			1	1	2				
		1				1				
	1	1				1	1			
		2					2			
	3	1	2	1		1	1			
	10	8	3	3	0	5	8			

5表 -

項目 60才代以上	60才代以上									
	イ		ロ		、の場合その解決方法は？					
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E			
		1								
	2		2							
	2								1	
	4					1	3			
	2	1	3						1	
		2							1	
	1	7	1						4	
	1	2	2						1	
	12	14	8	0	1	3	8			

思春期を抱える年代層としては問題項目としての回答が少なかった。その中では、やはりこどもの育ち方、育て方が中心テーマ。

進学・就職・結婚と青年期の子どもを抱える親の悩みは多い。子どもの健康問題・アクシデントに対する過去の悩んだ経験者も多い。

子どもの独立問題に特化した特長が出た。

【付表】

6表 -

項目 自分自身	20～30才代							
	イ		ロ		、			の場合その解決方法は？
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
生きがいがない。人生が楽しくない		1					1	
人生の目標を失った(伴うに前係ない問題)	1		1					
自殺を考える事がある								
身近に相談相手がない		1					1	
自己嫌悪に陥る(性格性向 学歴 生育歴ほか)		3	2		1		1	
仕事以外に自分の居場所がない		1					1	
老後の生きがいを見つけれない								
何をしても億劫な感じがする。うつ病ではないかと不安に感じる(鬱病精神症など)		2					2	
持病を抱えている(高血圧、肥満、糖尿)		1					1	
三大成人病(がん、脳梗塞、心臓疾患)が怖い								
毎日気分が優れない。体調が悪い。		1					1	
不眠症に悩んでいる								
禁酒、禁煙ができない	1		1					
長期入院した								
	2	11	4	0	1	0	9	

「仕事」「家計」「経済」に次ぎ、回答数が多かった。
悩む年代層であるが、回答の傾向はやや自信喪失感が窺われる。

6表 -

項目 自分自身	40才代							
	イ		ロ		、			の場合その解決方法は？
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
生きがいがない。人生が楽しくない		2					2	
人生の目標を失った(伴うに前係ない問題)	1		1				1	
自殺を考える事がある								
身近に相談相手がない								
自己嫌悪に陥る(性格性向 学歴 生育歴ほか)		1					1	
仕事以外に自分の居場所がない		1					1	
老後の生きがいを見つけれない		1					1	
何をしても億劫な感じがする。うつ病ではないかと不安に感じる(鬱病精神症など)		1					1	
持病を抱えている(高血圧、肥満、糖尿)		2		1			2	
三大成人病(がん、脳梗塞、心臓疾患)が怖い	1						1	
毎日気分が優れない。体調が悪い。								
不眠症に悩んでいる	1	1		1		1	1	
禁酒、禁煙ができない		2					1	
長期入院した								
	2	17	1	5	0	2	12	

この年代は「仕事」に次いで「自分自身」への回答が集中した。
中でも特徴があるのは、「持病への不安」である。

6表 -

項目 自分自身	50才代							
	イ		ロ		、			の場合その解決方法は？
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
生きがいがない。人生が楽しくない								
人生の目標を失った(伴うに前係ない問題)	1	1	1				1	
自殺を考える事がある								
身近に相談相手がない	1		1					
自己嫌悪に陥る(性格性向 学歴 生育歴ほか)		3					2	
仕事以外に自分の居場所がない		1					1	
老後の生きがいを見つけれない		1					1	
何をしても億劫な感じがする。うつ病ではないかと不安に感じる(鬱病精神症など)	1			1				
持病を抱えている(高血圧、肥満、糖尿)								
三大成人病(がん、脳梗塞、心臓疾患)が怖い	1	3	1				1	
毎日気分が優れない。体調が悪い。		1					1	
不眠症に悩んでいる								
禁酒、禁煙ができない		3					2	
長期入院した		1	1					
	5	18	5	2	0	0	12	

40代と同様6つのジャンルの中で「自分自身」が2番目に回答が集中した。
40代の持病の不安に対し、50代は「三大成人病」への不安が大きい。

6表 -

項目 自分自身	60才代以上							
	イ		ロ		、			の場合その解決方法は？
	過去に経験した事項	現在抱えている問題	A	B	C	D	E	
生きがいがない。人生が楽しくない		1					1	
人生の目標を失った(伴うに前係ない問題)								
自殺を考える事がある								
身近に相談相手がない								
自己嫌悪に陥る(性格性向 学歴 生育歴ほか)	1		1					
仕事以外に自分の居場所がない								
老後の生きがいを見つけれない		1					1	
何をしても億劫な感じがする。うつ病ではないかと不安に感じる(鬱病精神症など)								
持病を抱えている(高血圧、肥満、糖尿)								
三大成人病(がん、脳梗塞、心臓疾患)が怖い		2					1	
毎日気分が優れない。体調が悪い。		2		2		1	1	
不眠症に悩んでいる	1	1	1					
禁酒、禁煙ができない		1						
長期入院した								
	2	9	2	2	0	2	3	

問題をどのように解決したのか？

過去に経験した問題」あるいは「現在抱えている問題」の解決方法は？ の回答結果である。

< 1 > 6つのジャンルの合計ベースで解決方法を集計すると

A. 自分(家族とその周辺を含む)で解決した	41%
B. 専門家に相談して乗り切った(医師・弁護士・その道のプロ)	7%
C. 友人知人の助力支援を貰って切り抜けた。	8%
D. スコアレでのカウンセリングを受け解決した。	10%
E. 未解決。	34%
(計)	100%

全体では、解決された問題が66%、現在未解決の問題が34%となった。
解決した66%の内訳は、自分で解決が41%、残り25%は周囲から、何らかの支援を受け解決したが、スコアレでのカウンセリングで解決したのが10%あった。

< 2 > 未解決の割合

	回答数	未解決数	未解決率	解決手段の特徴
仕事	162	28	17.3%	自己解決が多いが友人、スコアレも目立つ
家計 経済	43	18	41.9%	自己解決 未解決が半々
親 兄弟姉妹	33	17	51.5%	現在抱える問題として未解決が過半を占める
夫婦間	24	7	29.2%	
子ども	49	21	42.9%	スコアレでの解決が2割ある。
自分自身	62	36	58.1%	未解決率が最も高い
計	373	127	34.0%	

関連質問として、「これは社会的問題である」と感ずる質問項目についての記述。

調査票に関連しての自由意見記載。

「この調査票は、自身が現在を見直し、将来を見つめるチェックシートとして意味があり、評価できる」
「今後も定期的な調査をして自己採点する機会があっても良い」等の会員意見があった。

参考資料 「おとうさんのライフステージ」

「社会人」として「職業人」として「父親」としてのチェックシートを参考資料として添付した。

< 参照資料 >

(グラフ4-6)

(表4-3)

26ページ参照

27ページ参照

28ページ参照

年代別・解決方法 集計表 (大項目ベース)

表4-3

【1】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E	
仕事	20~30代	13	15	28	現在の問題	20~30代	8	4	8	0	9	29
	40代	55	8	63		40代	42	0	3	9	7	61
	50代	39	8	47		50代	21	0	9	4	8	42
	60代以	31	0	31		60代以	18	1	5	2	4	30
計	138	31	169		計	89	5	25	15	28	162	

【2】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計	
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E		
家計・経済	20~30代	4	11	15	現在の問題	20~30代	4	1	0	1	7	13	
	40代	3	5	8		同上	40代	2	0	1	0	3	6
	50代	9	9	18			50代	8	3	0	1	6	18
	60代以	5	5	10			60代以	2	2	0	0	2	6
計	21	30	51	現在の問題が多い	計	16	6	1	2	18	43		

【3】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計	
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E		
親	20~30代	0	4	4	親	20~30代	0	0	0	0	3	3	
	40代	2	6	8		兄弟姉妹	40代	3	0	0	1	6	10
	50代	6	10	16		集中度大	50代	7	0	0	0	7	14
	60代以	5	2	7			60代以	4	0	0	1	1	6
計	13	22	35		計	14	0	0	2	17	33		

【まとめ】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計	
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E		
合計	20~30代	20	43	63	<解決方法>	20~30代	19	5	9	1	28	62	
	40代	67	48	115		40代	49	5	5	16	38	113	
	50代	76	55	131		他年代比、回答数多い	50代	49	10	11	12	43	125
	60代以	57	32	89			60代以	35	5	6	9	18	73
計	220	178	398		計	152	25	31	38	127	373		

過去に経験した、或いは現在抱えている悩み・ストレスの解決方法はつぎのどれですか？

A <自分>	152	A. 自分 (家族とその周辺を含む) で解決した。	41%
B <専門家>	25	B. 専門家に相談して乗りきった (医師、弁護士、その道のプロ)	7%
C <友人>	31	C. 友人、知人の助力支援を貰って切り抜けた。	8%
D <スコア>	38	D. スコアでのカウンセリングを受け解決した。	10%
E <未解決>	127	E. 未解決	34%

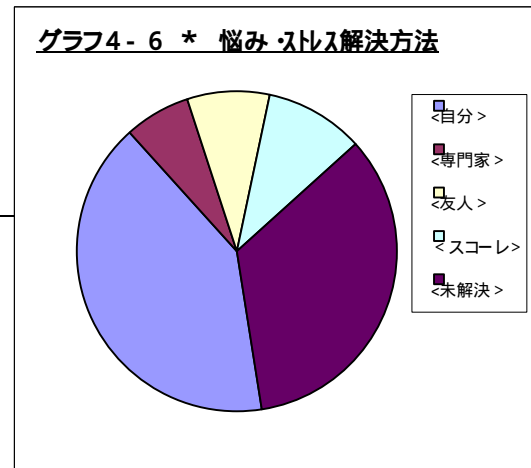
解決方法 (記号) 回答数

【4】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E	
夫婦間	20~30代	1	1	2	やや目立つ 過去が目立つ	20~30代	2	0	0	0	0	2
	40代	2	6	8		40代	0	0	1	1	5	7
	50代	7	2	9		50代	5	2	2	2	2	13
	60代以	2	2	4		60代以	1	0	0	1	0	2
計	12	11	23		計	8	2	3	4	7	24	

【5】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E	
子ども	20~30代	0	1	1	回答数が多い	20~30代	1	0	0	0	0	1
	40代	3	6	9		40代	1	0	0	3	5	9
	50代	10	8	18		50代	3	3	0	5	8	19
	60代以	12	14	26		60代以	8	0	1	3	8	20
計	25	29	54		計	13	3	1	11	21	49	

【6】	年代区分	イ過去・ロ現在			解決方法 (記号脚注)	年代区分	解決方法 (記号脚注)					計
		イ	ロ	計			A	B	C	D	E	
自分自身	20~30代	2	11	13	現在のこととして多い	20~30代	4	0	1	0	9	14
	40代	2	17	19		40代	1	5	0	2	12	20
	50代	5	18	23		50代	5	2	0	0	12	19
	60代以	2	9	11		60代以	2	2	0	2	3	9
計	11	55	66		計	12	9	1	4	36	62	

グラフ4-6 * 悩み・ストレス解決方法



質問4の【関連質問】 質問事項(小項目)の中で「これは社会的な問題」と感ずる項目は何ですか?

(危機管理研究会まとめ)

大項目	中項目	小項目(問題点)	年代	会員の具体的意見
1 仕事	2 職場の人間関係	うつ病問題	60代	サラリーマンの15%はうつ症と言われる。ストレスの多い情勢下、自殺者急増ともリンクする社会問題。
			30代	転職がスムーズにいくなセーフティネットの仕組みが欲しい
	5 会社の現状、将来に不安	倒産、リストラの危機 過重労働問題	30代	サラリーマンは働きすぎが多い。3万人も自殺者が出るのは問題
			50代 60代	顧客、企業からのコスト削減要請が強くなり仕事量が増大している。 自身の経験で言えば、特に営業部門のサービス残業。これは社会的問題。
2 家計 経済	1 生活設計	年金 老後問題	30代	年金システムの崩壊の不安、不信。改革が必要。
			60代	本人の日常生活姿勢と多重債務の関係は往々リンクする。
	2 借金・ギャンブル	本人の問題	30代	被害が大きくなる前に取り締まって欲しい。
			60代	高令者が増えると狙われる。
			60代	冷たい言い方をすれば人生の危機管理ができていない側面がある
			50代	今後も手口を変えながら続発する危険がある。
3 詐欺に引っかかる	悪徳商法問題	30代	被害が大きくなる前に取り締まって欲しい。	
		60代	高令者が増えると狙われる。	
3 親・兄弟	2 財産相続 遺言 贈与 4 その他	親族間の係争問題 近所づきあい問題	60代	相続を法律手段で解決しようという傾向が強い世の中になった。
			40代	上手にできない
5 子ども	1 子育ての悩み	善悪の認識 規律性	60代	電車バス内での礼儀作法のない若者の振る舞い。
			60才	子どもの生き方の弱さがその後の多様な社会問題と社会的口スを生む。
	2 引きこもり、不登校	学級崩壊 内発力の弱い子ども	30代	子どもは国の宝。社会全体の力で何とか助けたい。
			50代	原因の多くは家庭教育にある。
	3 子どもの進路・就職問題	ニートの問題	60代	年上の男との対話ができない社会性のない子どもの増加。これは日本の危機である。
			60代	No Employ No Education No Training
6 自分自身	1 生きがい・人生観 定年後	シニア世代の生き方	30代	高令化社会では仕事以外での生きがいが必要。
			60代	自分だけの狭い中か、社会との関わりを求めて生きるかは社会が活性化するかどうかの問題でもある。
			40代	年令に関係なく生じている問題。
			50代	目標、生きがいの見つけにくい社会になった。
			60代	経済的に豊かになり、心が弱くなってしまった。
			60代	老人化社会
	2 心と身体	自殺・うつ病	50代	最近増加傾向にある。会員からこのような不幸が出ないような予防措置的講座も必要。

自由記載(調査票についての、回答者の自由意見)

(文章の長さや内容により若干表現を簡潔にしています)

30代	<p>私の場合幸運にもまだそれほどマルをつける項目がなかったのですが、サラリーマンとして、夫として、二児の父親として又老親を遠隔地に持つ子として、これから直面するであろう問題を予言されたような気がします。</p> <p>将来困り果てたときは、マスターズの方をお借りできれば、又自身のマスターズの講習や活動で自己防衛力がつけられればと思います。又もし私が協力できることがあったらご教示ください。</p>
30代	アンケートをしてみると、仕事の面で悩んでいることが多いということが改めてよくわかった。反対にもう少し家庭の方に関わりをもたないといけないことも判った。
30代	本気で取り組みれば仕事も面白いというか、充実感もあるのですが休みも仕事に追われてしまい疲れが溜まりの繰り返しです。何が何でもこなさなければならぬ課題の日々、それも残業は制限されあきらめと疲れの毎日で悩んでいます。しかし他人の提言を素直に受け入れられない頑固な自分でもあります。
40代	問題を細かくリストアップする素晴らしいアンケートだと思います。しかし選択がデジタル的で(まとめ易いとは思いますが)、細かなところは記述式がよいと思えました。(特に八の選択が)
40代	私は技術系会社員であるため、取得している技能資格は専門的で役に立つか判りませんが、あえて得意分野と言えば、「絵本の読み聞かせ」です。長女が生まれたころから妻と一緒にやっていた関係で、私自身絵本に興味があり家に蔵書もたくさんあります。何か絵本を通じてお役に立てればと思います。
40代	最近気になること「驛金主義」「ブルメ志向」「豪華ホテル」などのマスコミ報道。又「大人が生きがいを見つけられない中での少子化問題。人を救うのではなく自分の優越感中心の生き方」「人の進化を遅らせる電子機器。」
40代	調査結果からどのように活動に活かされるのか期待いたします。
40代	現在はスコアによって多くの学び体験を頂いております。調査票について自分自身家族については、不安不満はありませんが、いずれ起こりうる事項も出てくると思います。このようなアンケートが定期的に行われ今後のチェックシートとして方向付けされたいと思います。私もいずれ何らかのお手伝いができたらと思います。
50代	今回のアンケートはかなり心の内面、プライベートな面に踏み込んだ質問が多かった。逆にこれらに対応できるような体制をうまく整えていけば、マスターズの組織がより世の中に役立ち、頼られる団体になると思います。
60代以上	現在、年金と私のパート収入で夫婦二人の生活になりましたが不平不満を拾い上げれば切がありません。スコアで勉強させていただき「身の丈に合った生活」を送らせて貰っています。知的楽観主義を私なりに心がけています。
60代	腹式呼吸を深くすることで気持ちを変えられます。
60代	ミドル・シニアの経験を活かし、会員相互の扶助組織をつくりあげることができれば、スコアの活動範囲も広がり男性の入会動機につながると思う。子育て支援に限っても、父親の役割を明確にすることにより、家庭教育の再生・強化に貢献できると信ずる。
60代	すでに64歳ですが、常に何とかなるとい楽観的ではありますが、墓の問題や老後(といっても80歳位からの認知症になるかもしれない不安)を考えると万全はあり得ないので不安といえば不安。しかし已む無し。
60代	危機管理(社会的側面と家庭的側面)のうち、家庭的な面はスコア25年の歴史の中で積み上げたカウンセリングのノウハウがあり解決できる。社会情勢で変化する出来事に対しては、Q&Aで答え、解決できないものは弁護士、専門家に照会し解決への糸口を付けてあげる。
60代	日本の裁判制度。判決は決して正当なものとは言えずそのため今、「裁判員制度」が実施されようとしている。又、土地関係は土地家屋調査士が絡んで裁判外解決を認められようとしているのは好ましい方向である。
	裁判は争いごとであり、最善の方法ではないが、弁護士が足りないとして法科大学院を増設したのは、正しい方向なのか疑問である。弁護士もピンからキリで、争いを創作する弁護士もいる。